

南区洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

大岡川水系河川：大岡川、堀割川、中村川

この洪水ハザードマップは、大岡川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9024号 横浜市建築局都市計画基本図データ(地図レベル2500)により作成
河川	横浜市下水道河川局 河川図
浸水想定区域	大岡川水系浸水想定区域図
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域(令和7年7月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域(令和7年7月現在)

洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

こちらの面の洪水浸水想定区域^{※1}の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(24時間で332mm)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307mmの降雨を観測しています。^{※2}

なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していません。したがって着色されていない区域でも浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

※1 神奈川県ホームページ
(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/cnt/f3747/p1039490.html>)

※2 横浜地方気象台ホームページ
(<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/>)



想定条件

大岡川水系：
**24時間で
332mm**の降雨

凡例 (Explanatory Notes)

○浸水深のめやす

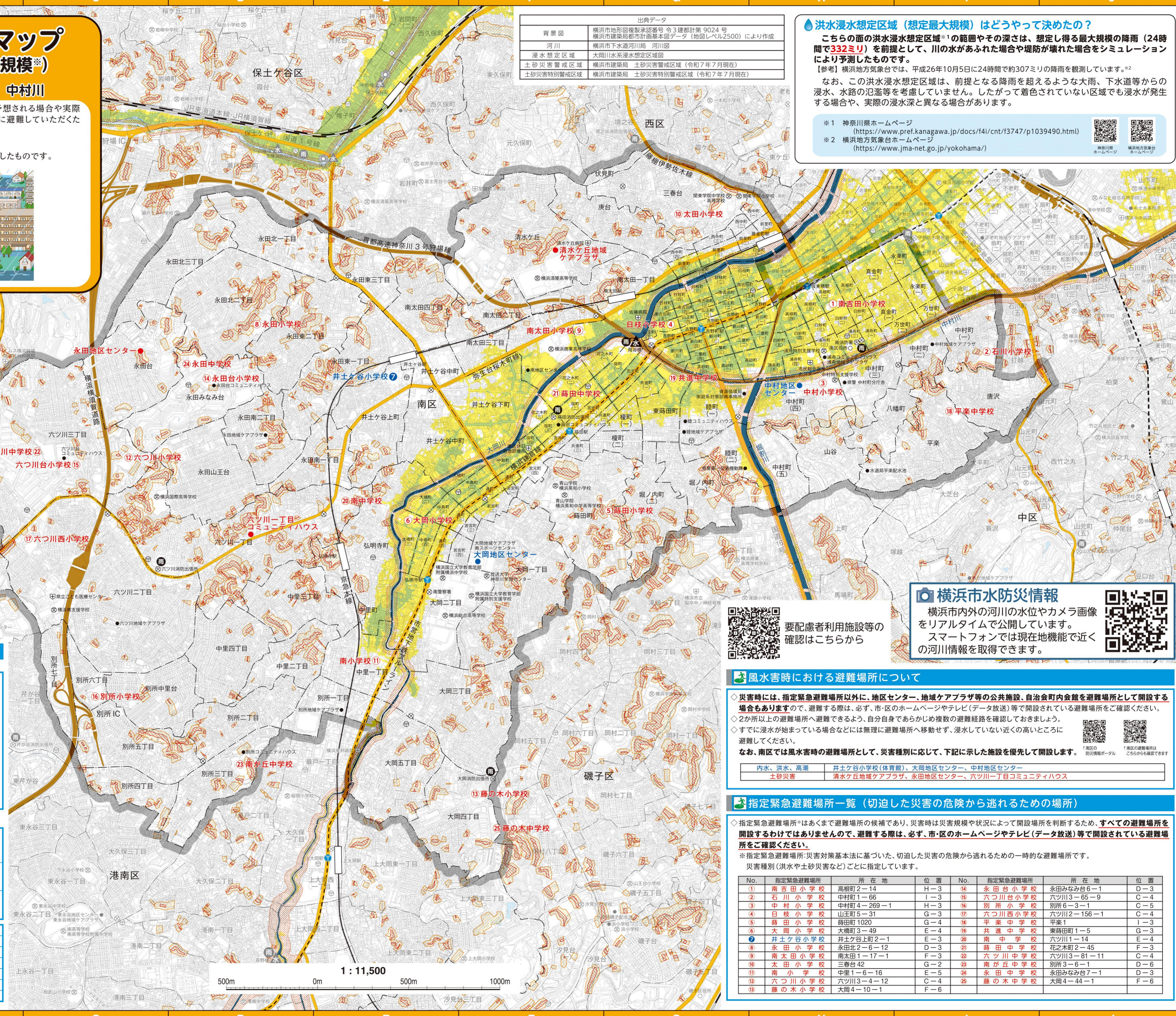
10.0~20.0m未満	※南区内では、該当エリアはございません。
5.0~10.0m未満	※南区内では、該当エリアはございません。
3.0~5.0m未満	2階部分まで浸水する深さ ※南区内では、該当エリアはございません。
0.5~3.0m未満	1階天井をこえて浸水する深さ
0.0~0.5m未満	おとなの膝まで浸かる深さ

※内水ハザードマップの浸水深とは、浸水階級が異なります。

○避難する際に注意する箇所

	家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)	堤防決壊に伴う氾濫や河岸浸食により家屋が倒壊・流出するおそれがあり、屋内での避難ではなく、早期の立ち退き避難が必要な区域 ※事前の調査、強度特性や履歴対策等の違いにより、この区域の境界はあくまでも目安です。
	土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒態勢の整備が行われます。
	土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、特定の危険行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

	都境界		主要道路
	市区界		避難場所
	町丁目界		指定緊急避難場所
	J R線・駅		雨量観測所
	私鉄線・駅		水位観測所
	市営地下鉄線・駅		河川監視カメラ
	高速道路・有料道路		



要配慮者利用施設等の確認はこちら

横浜市水防災情報

横浜市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています。スマートフォンでは現在地機能で近くの河川情報を取得できます。

風水害時における避難場所について

◇災害時には、指定緊急避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合もありますので、避難する際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

◇2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。

◇すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。

なお、南区では風水害時の避難場所として、災害種別に応じて、下記に示した施設を優先して開設します。

内水、洪水、高潮	井土ヶ谷小学校(体育館)、大岡地区センター、中村地区センター
土砂災害	清水ヶ丘地域ケアプラザ、永田地区センター、六ツ川一丁目コミュニティハウス

指定緊急避難場所一覧(切迫した災害の危険から逃れるための場所)

◇指定緊急避難場所[※]はあくまで避難場所の候補であり、災害時は災害規模や状況によって開設場所を判断するため、すべての避難場所を開設するわけではありませんので、避難する際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

※指定緊急避難場所:災害対策基本法に基づいた、切迫した災害の危険から逃れるための一時的な避難場所です。災害種別(洪水や土砂災害など)ごとに指定しています。

No.	指定緊急避難場所	所在地	位置	No.	指定緊急避難場所	所在地	位置
①	南吉田小学校	高根町2-14	H-3	⑭	永田小学校	永田みなみ台6-1	D-3
②	石川小学校	中村町1-66	I-3	⑮	六ツ川台小学校	六ツ川3-65-9	C-4
③	中村小学校	中村町4-269-1	H-3	⑯	別所小学校	別所6-3-1	C-5
④	日枝小学校	山王町5-31	G-3	⑰	六ツ川西小学校	六ツ川2-156-1	C-4
⑤	蒔田小学校	蒔田町1020	G-4	⑱	平楽中学校	平楽1	I-3
⑥	大岡小学校	大岡町3-49	E-4	⑲	共進中学校	東蒔田町1-5	G-3
⑦	井土ヶ谷小学校	井土ヶ谷上町2-1	E-3	⑳	南中学校	六ツ川1-14	E-4
⑧	永田小学校	永田北2-6-12	D-3	㉑	藤の木小学校	花之木町2-45	F-3
⑨	南太田小学校	南太田1-17-1	F-3	㉒	六ツ川中学校	六ツ川3-81-11	C-4
⑩	太田小学校	三善台42	G-2	㉓	清水ヶ丘小学校	別所3-6-1	D-6
⑪	南小学校	中里1-6-16	E-5	㉔	永田中学校	永田みなみ台7-1	D-3
⑫	六ツ川小学校	六ツ川3-4-12	C-4	㉕	藤の木中学校	大岡4-44-1	F-6
⑬	藤の木小学校	大岡4-10-1	F-6				

